

# 公益財団法人応用科学研究所 令和3年度定時評議員会(遠隔開催)議事録

1. 開催日時 令和3年6月22日(火) 14:00~15:00
2. 開催場所 公益財団法人応用科学研究所森記念研究棟 2F 会議室  
京都市左京区田中大堰町49番地  
及び遠隔会議 (Zoom) システムを介して交信可能な各拠点 (下記)
3. 評議員現在数及び定足数  
現在数 11名、 定足数 6名
4. 出席評議員数 11名  
(本人出席) [遠隔地] 石坂 章(自宅)、上田 圭志(自宅)、鴻野 雄一郎(自宅)、  
西田 篤史(株関西電力)、仁田 旦三(自宅)、平尾 一之(ACT 京都)、  
三浦 秀士(九州大学)、三阪 佳孝(高周波熱錬株)、森 雅彦(DMG 森精機株)、  
安丸 尚樹(自宅)、吉田 英生(自宅)  
(陪席) 監事: [遠隔地] 西 亨(自宅)、村上 博保(公認会計士村上博保事務所)  
理事: 久保 愛三、北野 正雄、野村 俊雄、成宮 明、松岡 裕明、  
[遠隔地] 長村 光造(応用科学研究所)、川崎 一博(自宅)、野村 剛(自宅)、  
柳原 正裕(DMG 森精機株)、山路 伊和夫(京大)  
(議案説明及び報告) 久保理事長、野村常務理事、成宮常務理事
5. 議案 第1号議案 『理事の選任』に関する件  
第2号議案 『監事の選任』に関する件  
第3号議案 『令和2年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び  
附属明細書並びに財産目録の承認』を求める件  
報告事項 1) 理事会報告  
2) 中期経営計画 (2021年度版) について
6. 開会・議長選出並びに議事録署名人選出  
会議開始にあたって、野村事務局長が、本日の評議員会は遠隔会議システムを利用して行われ  
る旨を述べ、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意思表示が互いに  
出来ることを確認した。  
(1) 定足数の確認等  
定刻14:00に出席予定者全員が出席。久保理事長の挨拶の後、事務局から本日の出席者につ  
いて、評議員11名の出席と監事2名の出席、及び理事10名の陪席で、会議は成立しているこ  
とが報告された。  
(2) 開会及び議長の選出並びに議事録署名人の選出  
定款第25条の規定に基づき出席評議員の互選により、仁田旦三評議員が議長に選出された。

次いで評議員会議長が開会を宣し、まず定款第 30 条に、議事録には議長と、出席した評議員のうちから選出された 2 名が記名押印することとなっている旨の説明があった。議長から鴻野評議員、並びに平尾評議員が指名され、両人もそれを承諾し、議長及びこの両評議員が議事録署名人となった。

引き続いて議案の審議に入った。

## 7. 議事の経過の概要及びその結果

### 第 1 号議案 『理事の選任』に関する件

議長の求めに応じて、理事長から下記の説明があった。

公益財団法人に移行して以来 10 年が経過し、7 年前に新しく発足した、機械基盤研究事業もコア事業として確り根付いてきているが、法人を取り巻く景況等は依然として不透明であり、経営上の課題も多く抱えていること。このような状況の中で本法人の更なる発展を図るためには、従来を経緯を踏まえた上での運営と改革に加え、新たな発想も必要であり、今回は 9 名の再任理事の他に新たに 1 名の新理事を迎えることが適切と思われること。

議長は、以上の理事長提案内容について評議員会に諮り、その案を本日の評議員会で正式に取り上げることとし、審議を行った。

理事の選任の方法については各候補者毎に適否の採決を行い、その結果、理事長提案の 10 名全員について、それぞれ出席評議員全員一致で次期理事に選任することを決した。

選任結果をまとめると、次のとおりである。

(再 任)

久保愛三、北野正雄、野村俊雄、成宮明、松岡裕明、川寄一博、野村 剛、柳原正裕、山路伊和夫

(新 任)

大原久典（日本アイ・ティー・エフ(株) 常任顧問 ）

任期はいずれも選任された日から令和 5 年度定時評議員会終結の時までの 2 年間。

なお、退任者は次のとおり。

(任期满了) 長村光造

### 第 2 号議案 『監事の選任』に関する件

議長の求めに応じて、理事長から下記の説明があった。

公益財団法人に移行して以来 10 年が経過し、7 年前に新しく発足した、機械基盤研究事業もコア事業として確り根付いてきているが、法人を取り巻く景況等は依然として不透明であり、経営上の課題も多く抱えていること。このような状況の中で本法人の更なる発展を図るためには、従来を経緯を踏まえた上での改革を進めて行く必要があり、その観点からは現監事全員の再任が適切と思われること。

議長は、以上の理事長提案内容について評議員会に諮り、その案を本日の評議員会で正式に取り上げることとし、審議を行った。監事の選任の方法については各候補者毎に適否の採決を行い、その結果、理事長提案の 2 名全員について、それぞれ出席評議員全員一致で次期監事に選任することを決した。

選任結果をまとめると、次のとおりである。

(再 任)

西 亨、村上博保

任期はいずれも選任された日から令和7年度定時評議員会終結の時までの4年間。

第3号議案 『令和2年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書並びに財産目録の承認』を求める件

議長の求めにより、まず事務局から詳細の説明が行われた。引き続き、議長から、去る5月20日に公益財団法人応用科学研究所応接室において行われた監査の結果について、監事の報告が求められ、西監事から業務監査の結果について、監事監査規程に基づき、事業報告書及び理事の職務の執行について問題がなかったことが報告された。また村上監事からは、監事監査規程に基づき会計帳簿並びに関係書類の閲覧を行い、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨、報告された。

これらの報告に基づき、第3号議案について議長から各評議員の意見が徴された後、全員異議なく、本件は可決承認された。

## 8. 報告事項

議長はこれまでに開催された理事会について事務局に報告を求めた。

事務局から、令和2年6月15日の定時評議員会終了以降、理事会は、昨年9月25日の臨時理事会、及び本年3月23日の第2回理事会、並びに直近の本年5月27日の令和3年度第1回理事会が開催され、これらの議事録につきまして、今評議員会の議案書資料に添付し、説明は省略するとの報告があった。

続いて、もう一つの報告事項として成宮常務理事より「中期経営計画（2021年度版）」について報告がなされた。

以上をもって、全ての議案の審議は終了したので、議長は閉会を宣し、解散した。

上記の決議を明確にするため、定款第30条第1項及び第2項により、評議員会議長、及び指名された2名の評議員が議事録署名人としてこれに署名、押印する。

令和3年6月22日

公益財団法人応用科学研究所令和3年度定時評議員会

議事録署名人

評議員会議長 仁田 且三 (印)

令和3年6月22日

公益財団法人応用科学研究所令和3年度定時評議員会

議事録署名人

評議員 鴻野 雄一郎 ⑩

令和3年6月22日

公益財団法人応用科学研究所令和3年度定時評議員会

議事録署名人

評議員 平尾 一之 ④